

平成29年度 第2回四日市市立図書館協議会会議要録

1. 日 時 平成29年12月26日(火) 午後3時00分～午後4時30分
2. 場 所 四日市市役所 9階 教育委員会室
3. 出席者 委員：嶋津美和、竹下すま子、田中久登、土川典代、中井孝幸、
藤田一樹、松井真理子 (五十音順、敬称略)
図書館：村上周作館長、田中嘉隆副館長、堀田智恵美管理係長、
水谷園子奉仕係長
4. 欠席者 委員：岡田博子、福永智子 (五十音順、敬称略)
5. 傍聴者 2人
6. 議事録概要
 1. はじめに
 2. 議 題
 - (1) 平成29年度前期図書館事業報告等について
 - (2) 平成29年度後期図書館事業予定等について
 - (3) 新図書館に関する検討について
 - (4) その他
 3. おわりに

1. はじめに

館長あいさつ

当協議会は、「図書館法」第14条に基づき、図書館長の諮問意見機関とする法定協議会であり、「四日市市立図書館協議会条例」に基づき設置されるものである。

第2回協議会となる本日の議事については、

- (1) 平成29年度前期図書館事業報告等について
- (2) 平成29年度後期図書館事業予定等について
- (3) 新図書館に関する検討

の3本である。

会議時間が限られているため、前期事業報告および後期事業予定は、報告程度とさせていただきます。

新図書館については、基本計画(案)が最終形に近いので、できれば1時間以上かけて、しっかりとご審議いただきたいと思うので、ご協力を賜りたい。

図書館が社会教育施設であるということは、ご承知のとおりであるが、この社会教育ということについて、私なりに話をさせていただきたい。

社会教育には、動機付けということがあるが、例えば、環境や福祉などのテ

ーマで講座やワークショップを開催し、生涯学習につながる動機を市民に抱いてもらうものと言える。

これを図書館に当てはめると、図書展示や読書講座で、例えば環境や福祉、健康などの社会的な課題に関心を持ってもらい、図書で勉強し、同じ思いの仲間と学習するなどして、そして事後活動として社会活動、ボランティア活動に取り組むということになると言える。

よく課題解決型図書館と言われるが、展示や講座を動機付けという狙いを持って、啓発テーマで企画することでもあると思われる。

啓発テーマでは、市役所や市社会福祉協議会が、展示パネルにする情報も、講座の講師やノウハウも持っているので、それら外部との連携が有効であり、大切だと言える。

図書館は社会教育施設であり、社会教育には動機付けがあると話したが、図書館では、啓発テーマ型の展示や講座が、図書館利用への動機付けであり、新たな利用者を増やす入口、もっと多くの市民に利用してもらう手段であると思われる。

新たな利用者を増やす、多くの市民に利用してもらうには、啓発テーマ型の展示や講座、そして子ども読書ステップアップ事業が手段であり、今後のあり方の一つであると思う。

進行

図書館協議会条例第5条により、松井会長が議長となり、議事を進める。

【出席者確認・会議成立確認】定数9名、出席7名。

【傍聴者確認】2名。

【非公開範囲の決定】適宜、諮るものとされた。

2. 議 題

(1) 平成29年度前期図書館事業報告等について

(配布資料「平成29年度(上半期)事業実績」をもとに図書館説明)

委員 読み聞かせを実施している6団体分の参加者数は、50人から最大92人までとなっている。一方、赤ちゃん絵本の読み聞かせの参加者数は、平日にもかかわらず4ケタとなっており跳び抜けている。この差は何か。午前、午後に関係するのか。

図書館 赤ちゃん絵本の読み聞かせについては、好評で参加者も多く、さらに親子で参加する。赤ちゃん連れの参加に気が引ける人もいるであろうが、催しの中で手遊びなどがあることを知り、気軽に参加する家族が多いようであ

る。一方、子どもだけで参加できる読み聞かせについては、開催場所が小部屋内で狭く、定数も限られることから、比較して少人数となっている。

図書館 各ボランティアの読み聞かせは月に1回、赤ちゃん絵本の読み聞かせは月に3回分の各集計である。

図書館 9月14日分に鉄道弘済会表彰伝達式とあるが、これは「四日市録音奉仕の会」が表彰されたものである。また先月、同会は健康福祉部の推薦で厚生労働大臣表彰を受けた。この分野でご活躍いただいていることを紹介する。

委員 移動図書館車は全小学校へ巡回しているのか。

図書館 巡回していない。毎年度、学校へ移動図書館車の派遣希望を尋ねている。通常の巡回を除き、3回と限られている。

図書館 授業にはなかなか取り入れてもらえないものの、常磐小学校では全学年の授業に取り入れてもらっている。

委員 毎年、同じ学校へ派遣しているのか。

図書館 結果的に1校が継続している。通常の巡回の都合により派遣枠が2回と限られているが、なるべく新規に実施してほしいため、学校図書会議等にて周知している。

(2) 平成29年度後期図書館事業予定等について

(配布資料「平成29年度(平成30年1月以降) 予定」をもとに堀田係長説明)

特に質問、意見等はなし。

(3) 新図書館に関する検討について

(配布資料「中心市街地拠点施設整備基本計画(案)」(第5回同計画策定委員会資料)をもとに館長説明)

委員 2点についてうかがいたい。資料P.4(ウ)「まちづくりとしての総合的検討」の最後の2行について、減災のまちづくりに言及されている。以前、この協議会にて防災の観点からの意見があったが、資料ではこの箇所以外に減災・防災に関する記述が見受けられないようである。

資料P.34のイメージ図にて、バリアフリー化では、おもいやり駐車場からの導線部分であるが、車いすがすれ違うには狭い。市営駐車場から新図書館へ、車いすを利用する方、ベビーカーを利用する方の導線は遠くなる。また、これら雨天時の対応はどうなるのか、ご検討いただきたい。

思いやり駐車場について、何らかの移動に困難のある方が利用すると想定されていようが、一般の駐車場の利用者と同一車道からの進入となることが不安である。また、既存の駐輪場128台との説明があるが、どこから新図書館へ入るのか。

図を見れば、中央通り、三滝通りに面する玄関からはメインエントランスへ

入館することとなるが、大半の駐車場・駐輪場利用者が裏口から入館することとなるのであれば寂しいことである。

本庁からの専用通路があるかという問い合わせがあるが、構想があれば伺いたい。

図書館 順番に進めたい。減災・防災の記述はご指摘の辺りにしか見受けられないようである。

委員 建物の構造についての記述があるが、避難所としての機能の有無についてうかがいたい。

図書館 減災・防災に関する記述は、現段階の基本計画（案）の中においては、P.4「減災のまちづくり」に限られている。後半に建物の防災構造について記述があるが、前後がつながっていない。予算審議以降、言われてきたことであるが、答弁では地域の防災拠点となると回答していることから、P.4の記述となったのであろう。後に指定避難所機能を持つと書かれていない。

委員 この点については、その後議論されたのか。また、今後記述されるのか。

図書館 前回までの会議において策定委員会委員および事務局から減災・防災に関する指摘はなかった。当協議会での減災・防災に関する議論を同事務局へ伝えるが、次回策定委員会にて反映されるのか、または市が策定された基本計画（案）を受け取った後に盛り込まれるのか、確認したい。

会長 駐車場の導線が狭いのではないかという意見を策定委員会事務局へ伝えていくのか。

図書館 基本計画書には地上経路でバリアフリーの確保を検討するとうわれているが、バリアフリーの区域には車いすが交差できない部分を含むと思われる。駐輪場については、既存の128台分に加え、新たに160台を計画しているが、これらの二輪車はバリアフリー区域内の導線を横切ることになるため、ご指摘のとおりと言える。

会長 本庁舎とのアクセスについてはいかがか。

図書館 意見には連絡通路と言う表現があった。別件だが、本庁舎は免震構造で揺れない一方で、総合会館は耐震構造で揺れるといった構造の違いから、空中の連絡通路は設置できない。階段があり地上の通路を利用することとなる。

会長 スロープ横の階段部分周辺について、車いすの人はどのように対応するのか。

図書館 該当部分は幅は2mほどもなく、ネック箇所になると思われる。スロープが終わったところを直角に曲がる。雨対策は図にも本文にも表現されていない。

委員 ただ今の意見については、この計画は基本計画であることから、可か不

可かではなく、車いすへの配慮を、またアクセスしやすさについて考えましょう、などと記述しておくとういと思われる。減災・防災の部分もこのように記述するように意見してはいかがか。このような点が欠落している。

委員 同じ意見である。

委員 先日の策定委員会へ出席しているが、この案は基本計画書であるけれども、このように造ろうというものが全体的になく、可能なことを記述している。また、このような重要な点が抜け落ちていることが全体的に見受けられる。

図書館 岡田委員が欠席の連絡があった際、伝えられた意見は、従前にもあった「駐車場の確保」「3時間以上の駐車券」「直営」であったので、報告しておきたい。

委員 ボランティア専用の駐車場は造られないものであろうか。

図書館 難しいと思われる。

委員 この場所に建てるとは決まっていないということか。違う立地になれば今までの議論は水の泡となるのか。全く新しいものになるのであろうか。

図書館 図書館の基本方針および整備方針のうち、主たるところは変わらないと思われる。啓発テーマ型の展示・講座が行政との連携した組立てとなっているため、想定したとおりにいかないかもしれないが、基本的には立地が変わっても、議論が無になることはないと思われる。

委員 図書館となる建物自体が変わってくるのか。

図書館 何フロアにも分かれる積層型なのか、ワンフロア型なのか、実際の設計・レイアウトは変わる。ソフト面では、基本計画での考え方は引き継がれると思われる。

会長 駐車場について尋ねるが、現在の駐車場は 170 台分の 3 倍となれば 510 台となろう。P. 31 の 365 台の根拠は何か。+ α で造るのではないので厳しいのではないか。

図書館 2 日間の調査で想定しているが、170 台の 2 倍なのでいい数字だと思われる。

会長 365 台は市役所分ではないか。

図書館 ピーク時にこの建物には 365 台必要となると整理した。くすのきパーキング、民間駐車場を利用するものとし、総台数としては無料駐車券を配ることで吸収できる。図書館は土日祝日利用数が多く、市役所は平日であることから、中央駐車場は使用できるのではないかと思う。面的な総数はクリアできる。

委員 補足するが、土日 300 台の想定は自分が関わっている。貸出密度を上げており 10 冊／人で試算している。今までは、他館の調査では 70% の人が車で

来館するとしていた。また、他所の複合施設では 80%の人が図書館を利用している。駐車場は余裕を見て、2割増しの約 360 台が適切であると思う。

市営駐車場は平日でも渋滞する。土日祝日の 1 / 3 は来る。確実に 100 台分をあてがってほしい。今は 35 台のみ確保した。

会長 最近、市内中心部にて、中心市街地活性化のプロモーション行事等が開催されるようになった。賑わうことは大変結構だが、くすのきパーキングは満車で、入れない日があるようである。

委員 富山市の図書館を訪問したが、複合施設であり、銀行が入っている。図書館は広い。元々銀行の土地であった。静かで学生が多かった。

委員 富山市の図書館には駐車場がないようである。富山市は路面電車があるので、思いやり駐車場のみ設置している。停めるとお金がかかる。

委員 高校生、中学生はどこまでも自転車で来るようである。

図書館 市役所の駐輪場は、学生が利用する。市役所に停めて駅に行く者がいる。

会長 事前に事務局と話し合ったことがある。事務局へ配布資料の説明を求める。

(配布資料「新図書館に関する図書館協議会としての意見」(提言書案)を図書館説明)

会長 策定委員会へ提言を出す意見書であるが、これに防災、拠点に関する意見を入れたらどうか。本文中の 2 行ではわからない。

図書館 策定委員会事務局と折衝し、どのように出していくか、調整させていただきたい。

会長 以上の対応でよいか。

委員 北側にある市営駐車場および思いやり駐車場からのアプローチについて、正直な感想として人にやさしくないと思う。人にやさしい配慮がほしいと図書館協議会の意見があったと、少し強めに書いていただきたい。

会長 強めにお願いします。

委員 減災・防災について、不足しているのでもっと触れたらよいではないか、と記述してはいかがか。高知の市・県合同の全国初の図書館の建物ができたが、当初、地震時の津波の想定される高さは 16m であったが、後に 30 数 m となり、全フロアに備蓄物資が用意されている。このような配慮がとり得るのではないかとと思われるが、抜けている視点であり、強めに記述してほしい。

会長 これまでの意見を強めに記述して意見書を提出されるということではいかがか。

図書館 強いご意見いただいた。防災・減災については、出された意見は報告するが、書面で提出することは事務局と詰めさせてほしい。

会長 議題については以上としたい。

(4) その他

(特になし)

3. 終わりに

次回協議会について、年度内実施にて後日、各委員の予定を調整することとされた。

(16:30 終了)